

# 大学生の英語学習における SNS 利用状況と その利用促進への一考察

阿部恵美佳 植田麻実 杉野俊子

## Addressing Students' Attitudes toward Using Social Networking Services for Learning English and Suggestions for Teachers' Support

Emika Abe, Mami Ueda, & Toshiko Sugino

Together with the advancement of Internet Technology, Social Networking Services (SNS) have become one of the common and crucial items for college students. Students bring their own devices to class. These devices have greatly changed their ways of communication. They, for example, make contact with their friends by using SNS such as LINE. In other words, smartphones enable them to keep in touch with their friends, whenever and wherever they want to.

On the other hand, this modern technology often hinders students from focusing on learning. Even in class, they cannot switch off their smartphones fearing they will miss messages from their friends. Despite teachers' warning against using smartphone in class, this phenomenon is very common in class at universities in Japan.

Our initial assumption is that it is better to let students use their smartphones for helping them learn English rather than to prohibit from using them in class at all.

Abe, et al. (2016) investigated Japanese university students' SNSs usages and found that the most popular SNS was LINE, which was used by more than 90% of the students surveyed, but two-thirds of students did not use LINE for learning English. Results were similar for other SNS. In conclusion, Japanese university students actually used SNS tools to communicate with their friends, but did not want to use them for their learning English as much as we expected.

The present study explores the reasons for students' unwillingness to use SNS tools for learning English, using students' free-written comments on the topic. As a result, students' concerns and anxiety about using SNS are illustrated. Then, in order to lesson those students' concerns and encourage them to use it, the teachers' roles are discussed. When they use English for true communication, their motivation to study English will increase and their class will be more meaningful for them and their teachers. Teachers should facilitate students to use SNS outside class to improve their English ability

## 1. はじめに

近年コンピュータ技術の発達により、インターネットはとても身近なものになってきた。大学生たちは、子どもの頃から、コンピュータ・インターネットとともに育っている。現在の多くの大学生は、基本的操作を身につけ、インターネットを使い必要な情報を検索している。また、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス (SNS) を利用し、多くの人と自由にコミュニケーションしている。

この最新の技術は大学生にとって容易に情報やコミュニケーションを活発にできるという利益をもたらしている。その反面、大学生の学習によくない影響を与えているというのは教育者の中では周知の事実である。大学では授業中のスマートフォンの使用を禁止しているが、多くの大学生はスマートフォンの電源をオフにしていない。彼らは、SNS から発信されるメッセージを即座に見て返信したいからである。これは、スマートフォンが普及して

から顕著な事象である。教師が大学生に授業中の使用を注意しても、なかなか学生に徹底することは難しいのが現状である。

そこで、授業中のスマートフォン使用禁止を強制することより、大学生がスマートフォンを使って英語学習をできるような環境を整えるほうが良いのではないかと考える。本研究では、大学生のSNS利用の現状の調査結果（Abe et al. 2016）から、SNSを利用した英語学習を阻んでいる原因を明らかにし、教師が大学生にどのような学習支援ができるのかを示唆していきたい。

## 2. 先行研究

英語の授業を受けている学生から「日本ではあまり英語を使う機会がない。だから、英語がうまくならないし、勉強しなくてもいいと思う。」という声を聞く。彼らの多くは、英語学習の動機づけの低さを自分の周囲の環境が原因ととらえている。初期の動機づけ研究では、Gardner & Lambert（1972）の統合的動機（第二言語社会や文化に同化・統合しようとする好意的態度）と道具的動機（就職や受験のためなど有利な側面への関心に基づく態度）の分類がある。また、認知心理学の立場から、Deci & Ryan（1985）の内発的動機（知的好奇心や向上心など自らの内からくる動機）と外発的動機（成績、報酬などの外からの圧力によって起こる動機）と分類する試みがされている。これらの分類に沿って、動機づけのプラスの面に注目して多くの研究が行われてきた。

廣森（2015）は、学習動機を1つしか持たない学習者はその動機が弱くなると、動機を回復することが難しい。また、学習者が複数の学習動機を持つ場合、1つの学習動機が弱くなった場合、別の学習動機が動機を維持してくれると述べている。つまり、動機の強さは一定ではなく不安定で変化していくという側面を持っている。

Dörnyei（2001）は動機づけストラテジーを体系的に整理し、学習を続けるための動機づけを高める方法を動機づけストラテジー（motivational strategy）と定義した。また、Oxford（2011）は動機づけストラテジーを学習

ストラテジー (learning strategy) の一部であると分類し、動機づけを維持向上させるときに使うストラテジーであるとした。動機づけストラテジーの1つである自己調整ストラテジー (self-regulated learning strategy) は、学習者のやる気を出し、それを維持することに効果的であり、学習者に役立つと考えられている。

杉野他 (2013) は、英語学習の動機づけの高い大学生について、どのような動機づけストラテジーを使用しているかを調査した。この調査では、動機づけストラテジーを「学習法の工夫」「目標の設定」「自己暗示」などに分類した。また、Ueda et al. (2013) は、大学生に対する自己調整ストラテジーの利用調査において、「メモをとる」、「休憩を取る」などの自己調整ストラテジーを使っていると述べている。しかし、これらの研究は、SNS に関する学習動機づけストラテジーの調査は実施されていない。

Abe et al. (2016) は、大学生の SNS 利用と学習動機の関連について調査を実施している。Abe et al. は、日本人大学生 122 人中 114 人が LINE を使用しており、SNS の中で一番使用していた。しかし、8 人 (6%) の大学生のみ、LINE を英語学習に使っており、多くの大学生は LINE を学習のツールとして利用していないことが分かった。さらに、Facebook に関しては、122 人中 10 人 (8%) しか使用しておらず、その原因は個人情報漏えいや無制限に人とつながりたくないといった否定的なコメントがあった。これらの調査結果より、日本人大学生の英語学習に SNS を使用に対することに対する消極的態度が明らかとなった。そこで、教師によるどのような学習支援が大学生の SNS を利用した学習機会の増加につながるかを研究の対象とした。

### 3. 研究の目的

本研究は、

- 1) 英語学習に対する SNS 使用の消極的態度は、なにが根本的な原因なのか。
- 2) 英語学習における SNS 使用を進めるための教師はどのような支援が効果的であるか。

である。

#### 4. 研究の方法

2015年7月に日本の3つの大学でアンケート調査を行った。被験者は、122人、男子学生80人、女子学生42人である。学年別では、1年生49人、2年生26人、3年生39人、4年生8人である（表1参照）。専攻別では、英文学・外国語・国際学部などの学部49人、それ以外の文系学部24人、理系学部49人である（表2参照）。

表1 参加者の学年別・性別人数

		学年				
		1年生	2年生	3年生	4年生	計
性別	男子	38	19	17	6	80
	女子	11	7	22	2	42
	計	49	26	39	8	122

表2 参加者の学年別・専攻別人数

		学年				
		1年生	2年生	3年生	4年生	計
専攻	英語		2	39	8	49
	英語以外の文系		24			24
	理系	49				49
	計	49	26	39	8	122

アンケート調査は選択式と自由記述で実施した。（アンケートは、Appendix Aに記載。選択式の結果については、Abe et al. (2016)を参照。）本研究では、Abe et al. (2016)の結果を踏まえ自由記述部分の質的分析を行った。

## 5. アンケートの結果の分析

### 5.1. 英語学習に SNS を使用しない理由の分析

「質問 9) SNS は利用しているが、英語学習には使用していない人は、なぜ利用していないのですか。」

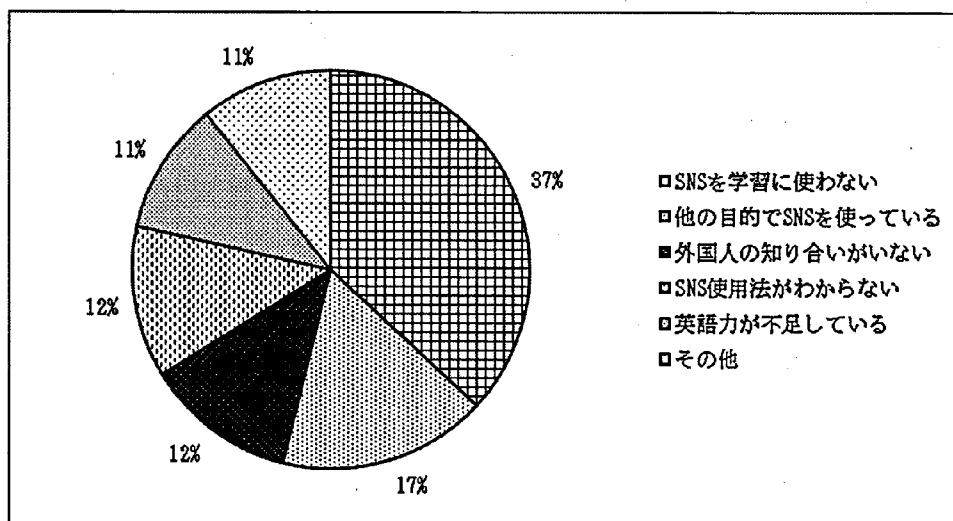


図 1 英語学習に SNS を使用しない理由：全体 N = 65

アンケート結果の分析によると（図 1 参照）、多くの大学生は SNS を使用しているが、英語学習に使っている大学生は多くない。122 人のうち 65 人が SNS を英語学習に使用していないと回答している（全体の 53%）。65 人のうち、使用していない理由として一番多かったものは、「英語学習に SNS を使いたくない。」であり、全体の 37% であった。二番目は、「SNS は楽しみのために使用しており、学習のためではない。」、「SNS は情報を得るために使っており、学習のためではない。」という回答で、17% である。両方を合わせると、全体の半分以上が、学習のために SNS を使いたくないと答えている。

さらに、「英語でコミュニケーションする外国人の友達がいらない。」が 12%、「英語学習のためにどのように SNS を使ったらよいかわからない。」が 12% と続く。最後に、「英語ができないから、英語でコミュニケーションできない。」が 11% である。その他の少数意見として、「日本人ならまだしも、

外国の見ず知らずの人とコミュニケーションとることに抵抗があるため。」(1年生)「面倒くさいから。」(2年生)という意見もあった。

次に、1年生と他学年のSNSを使用しない理由の比較を分析する(表3参照)。

表3 英語学習にSNSを使用しない理由：学年別人数 N=65

回答	1年生	回答比率	234年生	回答比率
SNSを学習に使わない	15	0.4	9	0.3
他の目的でSNSを使っている	7	0.2	4	0.1
外国人の知り合いがいない	5	0.1	3	0.1
SNS使用法がわからない	4	0.1	4	0.1
英語力が不足している	3	0.1	4	0.1
その他	1	0.0	6	0.2
合計	35		30	
総合計	65			

アンケートの自由記述の答えを2つのグループに分けて分析する。1年生が35人、他学年の合計が30人である。2つのグループともにアンケートの意見が一番多かったのは「SNSを学習には使わない」という意見であった。ただし、1年生の回答数は他学年に比べ、その比率が高くなっている。さらに、「他の目的でSNSを使っている」と答えた比率も1年生が高い。

[主な回答は次の通り]

学生 A：SNS を利用する目的がそもそも違って、情報を知るために利用しているから。(2年生)

学生 B：SNS を利用するときはほとんど日本語なので、あまり英語を使う機会がないから。(1年生)

学生 C：どうやって英語学習に使えばいいのかわからない。(1年生)

## 5.2. SNS 自体を使わない理由の分析

「質問 10) SNS 自体を利用していない人は、利用しない理由は何ですか。」

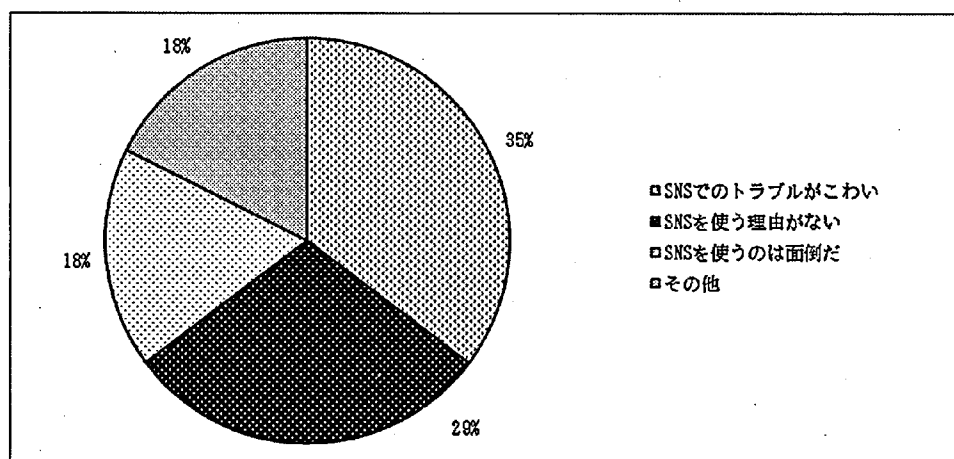


図 2 SNS 自体を使用しない理由：全体 N = 17

アンケート結果 (図 2 参照) によると、SNS 自体を使用していない理由に関する自由記述回答は、被験者全体 122 人中 17 人で、全体の 14% であった。多くの大学生が SNS を使用しているという Abe et al. (2016) の選択式のアンケート調査結果と一致している。Abe et al. (2016) は、122 人中 SNS を全く使用していないと回答した人は 4 人で、その 4 人全員が質問 10 に回答している。質問 10 に回答した 17 人のうち 13 人は LINE を使用しており、さらにその 13 人のうち 8 人は YouTube や twitter などを使用している。記述式アンケートの回答で最も多かった意見は「SNS でのトラブルが怖い」が 35%、次は、「SNS を使う理由がない」が 29%、18% の「SNS を使うのは面倒だ」が 18%、18% の「その他」が 18% である。



倒だ」となっている。

[主な回答は次の通り]

学生D：知らない人に見られるのが怖いから。事件に巻き込まれる。(3年生)

学生E：利用する必要がない。SNSが何かわからない。利用する意味がわからない。(2年生)

学生F：LINEは個人やグループでのやりとりだけど、その他は世界にもつながっているの、LINE以外のものは、自分でアカウントを作ったりしない。(1年生)

次に、SNS自体を使用していない理由を学年別に分析してみる。(表4参照)

表4 SNS自体を使用しない理由：学年別 N=17

		学年			
		1年生	2年生	3・4年生	計
理由	SNSでのトラブルがこわい	0	1	5	6
	SNSを使う理由がない	1	4	0	5
	SNS使うのは面倒だ	1	1	1	3
	その他	1	2	0	3
	計	3	8	6	17

3・4年生では「SNSでのトラブルが怖い」が回答一番多い。これは、学年が上がるにつれ、SNSの利用が進み、トラブル等に遭遇してその怖さを経験した結果であると考えられる。

### 5.3. アンケートに記述したSNSの使用事例以外の調査結果の分析

「質問8) 上記以外で自分の独自の英語学習のための使用法があれば、書いてください。利用(SNS)、利用法」

表 5 SNS の英語学習に関する利用法 (学年別) N=14

	学年			
	1 年生	2 年生	3・4 年生	計
全体	49	26	47	122
うち回答者	5	2	7	14
回答率	0.10	0.08	0.15	0.11

SNS の英語学習に関する学年別の分析 (表 5) では、1 年生 5 人、2 年生 2 人、3・4 年生 7 人であった。学年別の回答率をみると、大きな差は検出できなかった。

表 6 SNS の英語学習に関する利用法

N=14

		利用法	回答数
SNS	Twitter	英単語のアカウントをフォローする	8
		外国人をフォローする	
	YouTube	映画を字幕で見る	2
	LINE	英語翻訳	1
		外国人と英語で会話する	
	E-learning	1 回 30 分くらい学習し、TOEIC の力をつける	1
利用 SNS 不明	英語の文を読んで、映画を見て、音楽を聴く	1	
	企業サイトを見る		

さらに記述回答内容 (表 4) を詳しくみてみる、Twitter の利用を挙げた学生は、8 人、YouTube は 2 人、LINE は 1 人、E-learning は 1 人であった。使用 SNS の言及なしが 2 人であった。Twitter の使用法は、表 5 にあるように特定のアカウントをフォローするというものがほとんどであった。学生自身が Twitter を使って英語を発信しているという記述はなかった。YouTube の使用では、映画を見るとき、英語字幕を使って耳からだけでなく、目からも

英語を学習するというのであった。

## 6. 自由記述の考察と学習支援への考え方

英語学習のために SNS を使用していない大学生は、53% (122人中65人) であることがわかった (図1)。その53%の大学生のうち、「英語学習に使いたくない」、「英語学習以外の目的で使っている」と回答した学生は35人である (表3)。この数字は被験者全体の28% (122人中35人) である。つまり、大学生の28%は SNS を学習のための道具ではないと認識している。学年別の調査結果から見ると、1年生にその傾向が顕著に表れた (表4)。これらの原因は、1年生は大学に入学して3か月しか経過していないため、LINE 以外の SNS を利用する機会が少ないためである。大学2年生以降になり、LINE 以外の SNS (YouTube, Facebook 等) を利用していくにつれ、英語学習への有効性に気づいてくるものと考えられる。

英語学習に SNS を使おうとすると、外国人と英語で LINE や Facebook でやりとりをすることが1つの方法として考えられる。しかし、日本の大学生は、外国人の友達がないという理由で LINE や Facebook を英語学習に利用していないということが調査より明らかになっている。あまり英語が得意ではない日本人の大学生は自分から積極的に外国の友達を作って自由にコミュニケーションを取るということは、とてもハードルが高いと感じているようである。英語を中心に勉強している学部の3・4年生でさえ、英語学習に SNS を使わないと答えた学生が12%おり、SNS を否定的に捉えている。

英語学習に SNS をどのように利用したらいいのかわからないという学生に対して、利用法を体験できる機会をクラスで持つというのが1つの方法として考えられる。たとえば、クラスで教師が共通 Facebook を作る。学生はその共通 Facebook 上で英語を使ってコミュニケーションを体験することは、Facebook などを始める前の良いトレーニングになるのではないかと考える。

実際に、Abe & Ueda (2013) は、大学生が英語で YouTube クリップを作成するプロジェクトを行った。教師のガイダンスにより、大学生がグループ

で YouTube クリップの作成を体験した。そして、作成したクリップを YouTube で公開し、だれでも自分たちの作品をみることができるようした。公開したことにより、海外から YouTube へのコメントがいくつ寄せられ、そのことが彼らの自信につながり、英語学習動機づけの 1 つになった。

SNS 自体を使用しない学生が懸念していることは、個人情報漏えいや SNS の使用法の間違いによるトラブルであった (表 4)。いろいろな種類の SNS によって個人情報の取り扱いが異なっているため、利用者がよく考えて使わないと、意図しない情報が全世界へ公開されることになってしまう。例えば、学生 D や F のコメントによると、日本人学生の多くが使っている LINE は、コミュニケーションする相手を限定できる。しかし、他の国でよく使われている Facebook は、コミュニケーションする相手を限定するのが難しい場合があり、想定していない相手に自分の情報を公開してしまう懸念があると考えている。さらに、一度情報を公開してしまうと無限にコピーされ、いつまでも私的な情報がインターネット上に漂うということも憂慮している。多くの日本人はこういった個人情報の公開に敏感である。SNS を利用する際に、自分の情報を自分の意志でコントロールできるように、SNS 利用法の基礎をクラスで教えることも大切であると考えられる。

学生自身が SNS を英語学習に使い、役に立つと感じることが学生自身の動機づけを高めると考えられるため、教師がクラスで他の学生がどのように英語学習に使用しているかを紹介することが有効であると考えられる。

日々コンピュータ技術は進み、新しいアプリなどが開発されている。教師は定期的に学生の使っているアプリや SNS などを調査し、その情報をクラスで共有することは、学生の SNS 利用を促進する上で、とても大切なことである。また、教師は、英語学習の視点からアプリなどを見ることができ、学生と違った視点での使い方を提案できるだろう。

教師の大切な役割の 1 つは、英語学習がクラスの中だけではなく、クラスの外でも行えるということを学生に気づかせることである。10 年前は、スマートフォンがあまり普及していなかったため、コミュニケーションは自宅

のパソコンで行っていた。しかし、コンピュータ技術の発展により、スマートフォンやタブレットを使って、いつでもどこでも人とつながることができるようになった。学生自身がやる気になり、目的を持って英語学習に取り組むのであれば、学生が使える道具は彼ら自身が持っているのである。つまり、スマートフォンである。この便利な機器を使い、いかに効率的に自分の学習を進めていけるかが重要である。教師は、その便利さを学生に気づかせ、自律的に英語学習を進めていけるように手助けする必要がある。

### 【Note】

本論文は愛媛県松山市愛媛大学開催の Japan-U.S Teacher Education Consortium 28<sup>th</sup> Annual JUSTEC Conference (JUSTEC 2016) 「Unwilling students of using Social Networking Services for learning English: Their worries and support by teachers」の口頭発表に基づき加筆したものである。

### 【参考文献】

- Abe, E., & Ueda, M. (2013). Technology-based project work: enhancing English learning motivation in Japanese university. *ILAC Selections 5<sup>th</sup> Independent Learning Association Conference 2012*, 129-131.
- Abe, E., Ueda, M., & Sugino, T. (2016). Unwillingness to use social networking services for autonomous language learning among Japanese EFL students. *Kogakuindaigaku Kenkyu Ronso*, 53(2), 55-68.
- Deci, E. L., & Ryan, R. M. (1985). *Intrinsic Motivation and Self-determination in human behavior*. New York: Plenum Press.
- Dörnyei, Z. (2001). *Motivational Strategies in the Language Classroom*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Gardner, R., & Lambert, W. (1972). *Attitudes and Motivation in Second Language Learning*. Rowley, MA: Newbury House.
- 廣森友人 (2015) 『英語学習のメカニズム：第二言語習得研究にもとづく効果的な勉

強法] 大修館書店

Oxford, R.L. (2011). *Teaching and Researching Language Learning Strategies*. Harlow, U.K.: Pearson Education.

杉野俊子・植田麻実・阿部恵美佳・清水順 (2013) 「自律学習に役立つ動機づけストラテジーの理論と実践」工学院大学研究論叢 51(1), 21-33.

Ueda, M., Sugino, T., & Abe, E. (2013). How learners of English in Japan use self-regulatory strategies. *Selected Papers from the Twenty-second International Symposium on English Teaching*, 393-402.

## [Appendix A]

### 英語学習に関する SNS の利用のアンケート

当てはまるものを○で囲んでください。

- a) 性別 (1 男性・2 女性) b) 学年 (1 年・2 年・3 年・4 年)
- c) 学部 (1 英文学・外国語・国際学部など英語を中心とする学部、2 左以外の文系学部、3 理系学部)
- d) 利用している SNS (1 Facebook・2 YouTube・3 twitter・4 LINE・5 その他\_\_\_\_\_・6 なし)
- e) 英語 (1 まったく好きではない・2 あまり好きではない・3 どちらともいえない・4 好きだ・5 とても好きだ)

下の項目は、英語学習を行うときの自分でやる気を出すための方法です。それぞれ右側から一番当てはまるものを選んで、数字に○をつけてください。

1 絶対やろうとは思わない・2 あまりやろうとは思わない・3 やるかもしれない・4 時々やっている・5 よくやっている
---

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. YouTube で英語の歌を見て聴く     | 1・2・3・4・5 (理由: |
| 2. YouTube で英語の書き込みを読む    | 1・2・3・4・5 (理由: |
| 3. YouTube で英語の書き込みをする    | 1・2・3・4・5 (理由: |
| 4. Facebook の中で英語の書き込みを読む | 1・2・3・4・5 (理由: |

5. Facebook の中で英語の書き込みをする 1・2・3・4・5（理由：
6. Skype で英語のやりとりをする 1・2・3・4・5（理由：
7. LINE で英語のやりとりをする 1・2・3・4・5（理由：
8. 上記以外で自分の独自の英語学習のための使用法があれば、書いてください。  
利用 SNS（                      ）、利用法
9. SNS は利用しているが、英語学習には使用していない人は、なぜ利用していない  
のですか。
10. SNS 自体を利用していない人は、利用しない理由は何ですか。